



平成 28 年 4 月 13 日

各 位

会社名 富士通コンポーネント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 石坂 宏一  
(コード番号 6719 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役 倉本 雅晴  
(TEL 03-3450-1601)

当社の親会社 富士通株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田中 達也  
(コード番号 6702 東証、名証、各市場 1 部)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 10 月 15 日に公表しました業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	49,300	1,100	1,000	1,200	150.70
今回修正予想 (B)	48,200	900	510	620	77.86
増減額 (B-A)	△1,100	△200	△490	△580	—
増減率 (%)	△2.2	△18.2	△49.0	△48.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	46,943	822	939	1,143	143.61

#### 2. 修正の理由

第 4 四半期に入り、中国経済の減速に端を發した世界的な景気減速への懸念と期末にかけての急激な為替の円高への移行により、売上高が前回予想を下回る見通しとなりました。

営業利益につきましては、景気減速への懸念に伴う売上高の減少に加えて、急激な円高への移行による為替影響があり、コストダウンや費用の削減等の対策を行いましたが、為替の影響が大きく、前回予想より減少する見通しです。

また、経常利益につきましても、期末レートが円高となったことにより外貨建債権の洗い替え等による為替差損の影響が大きく、前回予想を下回る見通しです。

この結果、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前回の業績予想を下回る見通しです。

以 上